

九州森林管理局  
屋久島森林管理署  
屋久島森林生態系保全センター

平成29年度 国有林におけるヤクシカ対策について

九州森林管理局、屋久島森林管理署及び屋久島森林生態系保全センターにおけるヤクシカ対策の基本的目標として、①健全な森林づくり、②森林の生物多様性の保全、③地域への貢献などとしており、ヤクシカに関する各種生態調査、効率的・効果的な捕獲手法の検討、実践、地域や関係機関との連携など、これまでの実績や成果を生かした総合的シカ対策について、下記の事業に取り組みました。

記

- 1 野生鳥獣との共存に向けた生息環境等整備調査事業：
  - (1) ヤクシカの生息・移動調査、植生のモニタリング調査、ヤクシカ嗜好植物増殖試験、森林生態系管理目標の整理を実施。
    - ①ヤクシカ生息密度の把握のための糞粒調査及び南部地域(南部林道)、北部地域(一湊林道沿)における移動状況、行動パターン等調査実施し、過去のデータを含めて整理し分析。
    - ②ヤクシカ嗜好植物増殖試験について、試験地を設定し嗜好植物の生育状況等の調査を実施。
    - ③保護柵内外の植生を調査し、生息密度調査については、主要林道の調査結果を整理し、密度コントロールの効果と課題等についてとりまとめた。
    - ④高層湿原(花之江河、小花之江河)において自動撮影カメラによる、ヤクシカ生息状況等調査分析を実施。
    - ⑤森林生態系管理目標について整理。
- 2 ヤクシカの有害鳥獣捕獲等による取り組み
  - (1) 平成30年1月末の職員による捕獲実績は 169頭。
  - (2) 請負事業による人工餌を使用した誘引捕獲を大川林道、一湊林道沿いで実施し、165頭を捕獲。
  - (3) 既設保護柵の巡視並びに補修を実施。
- 3 国有林内のヤクシカ対策への関係者間の連携
  - (1) 屋久島森林管理署、屋久島町、上屋久猟友会、屋久町猟友会により締結された「屋久島国有林におけるシカ対策推進協定」に基づく猟友会による有害捕獲を実施。
  - (2) 官民境の国有林におけるわな捕獲を推進するため、屋久島森林管理署、屋久島町、上屋久猟友会、屋久町猟友会で協議し、官民境の国有林について有害捕獲を実施。
- 4 平成30年度の取り組み予定
  - (1) ヤクシカの生息・移動調査、植生のモニタリング調査、高層湿原での自動撮影カメラによる生息状況調査、森林生態系管理目標の整理、請負事業によるヤクシカ捕獲などを予定。